



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

東・名

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所  
 コード番号 3184 URL <https://www.icda.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	20,448	7.0	1,154	8.3	1,169	9.9	747	7.1
2021年3月期第3四半期	19,111	△5.1	1,065	20.8	1,064	18.4	698	9.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 792百万円(9.1%) 2021年3月期第3四半期 726百万円(9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	356.19	—
2021年3月期第3四半期	332.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,860	7,445	48.4
2021年3月期	14,716	6,763	44.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 7,195百万円 2021年3月期 6,549百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	4.8	1,399	△4.2	1,400	△3.9	922	17.0	439.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	2,100,000株	2021年3月期	2,100,000株
2022年3月期3Q	207株	2021年3月期	207株
2022年3月期3Q	2,099,793株	2021年3月期3Q	2,099,855株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症対策として、日本政府による緊急事態宣言のほか、三重県緊急警戒宣言及び三重県まん延防止等重点措置の発出により、経済活動の抑制が継続されておりましたが、第3四半期連結会計期間においては新型コロナウイルスの新規感染者数も大幅に減少し、経済活動が回復傾向となり、国内自動車の生産も徐々に回復いたしました。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォロー活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移してはおりますが、オミクロン株などの変異株による感染者の急激な増加に伴う経済活動の停滞や、世界規模の半導体不足による車両及び部品等の供給遅れ又は出荷停止等により業績に与える影響が懸念されております。

これらの結果、売上高は204億48百万円と前年同期と比べ13億36百万円(7.0%)の増収、営業利益は11億54百万円と前年同期と比べ88百万円(8.3%)の増益、経常利益は11億69百万円と前年同期と比べ1億5百万円(9.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億47百万円と前年同期と比べ49百万円(7.1%)の増益となりました。

#### ① 売上高及び営業利益

売上高は204億48百万円と前年同期と比べ13億36百万円(7.0%)の増収、営業利益は11億54百万円と前年同期と比べ88百万円(8.3%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

##### (自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、半導体不足の影響により一部商品及び部品の供給遅れ等が発生しております。国産新車販売台数は前年同期比0.5%減の3,509台となりました。また、輸入車においては、新商品投入の効果もありましたが、半導体不足の影響により商品供給が大幅に減少したため、輸入車販売台数は前年同期比1.9%減の359台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比0.6%減の3,868台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移したことと、新車販売店舗における中古車販売が増加したことにより、中古車販売台数は前年同期比0.8%増の7,057台となりました。

これらの結果、売上高は196億39百万円と前年同期と比べ11億76百万円(6.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は11億17百万円と前年同期と比べ5百万円(0.5%)の増益となりました。

##### (自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比18.6%減の6,498台となりましたが、前第3四半期連結会計期間以降、鉄及び希少金属類の資源相場が大幅に上昇した状況が継続しているため資源関連売上が大幅に増加いたしました。また、輸出関連売上については、新型コロナウイルス感染症拡大以前の状況に回復しております。一方で、使用済自動車の入庫は、前年同期比26.1%減の5,832台となりました。これは、前第1四半期連結会計期間における中古車オークション市場の価格低迷により、使用済自動車の仕入が容易になったことで大幅に増加しておりましたが、当第3四半期連結累計期間においては中古車オークション市場の価格高騰の影響を受けたことにより減少いたしました。

これらの結果、売上高は8億9百万円と前年同期と比べ1億60百万円(24.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は2億14百万円と前年同期と比べ98百万円(84.3%)の増益となりました。

#### ② 経常利益

営業外損益は、営業外収益が増加し、営業外費用は、前年同期比における借入金残高減少のため支払利息の減少等がありました。これらの結果、経常利益は11億69百万円と前年同期と比べ1億5百万円(9.9%)の増益となりました。

#### ③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は11億69百万円と前年同期と比べて1億5百万円(9.9%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は3億80百万円となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は7億47百万円と前年同期と比べ49百万円(7.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1億44百万円増加し、148億60百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加7億59百万円、現金及び預金の減少4億9百万円、建物及び構築物の減少1億38百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より、5億37百万円減少し74億15百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少2億13百万円、借入金の減少88百万円、前受金の減少86百万円、賞与引当金の減少75百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より、6億81百万円増加し、74億45百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上7億47百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、2021年5月14日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	962,077	552,696
受取手形及び売掛金	393,052	374,752
商品及び製品	2,608,236	3,367,445
仕掛品	2,531	7,193
原材料及び貯蔵品	57,858	38,044
その他	226,732	231,362
貸倒引当金	△145	△141
流動資産合計	4,250,344	4,571,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,643,472	2,504,809
土地	5,535,455	5,535,455
その他（純額）	1,176,561	1,181,552
有形固定資産合計	9,355,489	9,221,818
無形固定資産	52,661	46,217
投資その他の資産	1,057,625	1,021,245
固定資産合計	10,465,776	10,289,281
資産合計	14,716,120	14,860,635

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,728,993	1,702,372
短期借入金	2,282,565	2,315,280
未払法人税等	314,760	101,587
前受金	1,397,071	1,310,227
賞与引当金	154,568	78,660
その他	540,309	471,145
流動負債合計	6,418,268	5,979,273
固定負債		
長期借入金	401,100	279,615
役員退職慰労引当金	310,831	309,313
退職給付に係る負債	753,779	776,989
その他	68,794	70,384
固定負債合計	1,534,506	1,436,302
負債合計	7,952,774	7,415,575
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	4,233,030	4,875,986
自己株式	△378	△378
株主資本合計	6,542,723	7,185,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,439	6,709
退職給付に係る調整累計額	2,539	3,381
その他の包括利益累計額合計	6,979	10,091
非支配株主持分	213,644	249,290
純資産合計	6,763,346	7,445,059
負債純資産合計	14,716,120	14,860,635

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	19,111,945	20,448,637
売上原価	15,125,453	16,214,058
売上総利益	3,986,491	4,234,578
販売費及び一般管理費	2,920,711	3,080,002
営業利益	1,065,779	1,154,575
営業外収益		
受取配当金	6,933	8,635
受取賃貸料	8,550	8,570
受取保険金	7,067	15,186
受取負担金	2,657	—
その他	5,531	7,250
営業外収益合計	30,739	39,643
営業外費用		
支払利息	17,786	13,730
支払手数料	10,090	8,225
その他	4,000	2,597
営業外費用合計	31,876	24,553
経常利益	1,064,643	1,169,665
税金等調整前四半期純利益	1,064,643	1,169,665
法人税、住民税及び事業税	295,349	334,754
法人税等調整額	49,975	45,820
法人税等合計	345,325	380,575
四半期純利益	719,317	789,089
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,967	41,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,350	747,945

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	719,317	789,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,772	2,269
退職給付に係る調整額	1,136	1,033
その他の包括利益合計	6,909	3,303
四半期包括利益	726,226	792,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705,033	751,057
非支配株主に係る四半期包括利益	21,193	41,336

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,463,432	648,512	19,111,945	—	19,111,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,006	17,241	27,248	△27,248	—
計	18,473,439	665,754	19,139,193	△27,248	19,111,945
セグメント利益	1,111,748	116,366	1,228,115	△162,335	1,065,779

(注) 1. セグメント利益の調整額△162,335千円には、セグメント間取引消去875千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△163,210千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,639,560	809,077	20,448,637	—	20,448,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,985	16,675	22,661	△22,661	—
計	19,645,545	825,752	20,471,298	△22,661	20,448,637
セグメント利益	1,117,447	214,425	1,331,873	△177,297	1,154,575

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,297千円には、セグメント間取引消去558千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,855千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。